

相模原市立博物館常設展示室リニューアル展示基本設計業務委託に係る
公募型プロポーザル評価基準

1 評価項目及び評価内容について

下記の評価項目及び評価内容に基づき採点する。

| 評価内容 | 配点 | 評価の視点 |
|--|----|--|
| <p>1 全体計画について</p> <p>展示リニューアル構想に記載する課題を解決し、基本理念や目標を実現するための提案であるか。</p> | 30 | <p>リニューアルの方向性は、展示リニューアル構想の目標と整合性が図られているか。</p> <p>当館のプラネタリウム等の施設や活動の特色・強みが的確に分析され、提案に反映されているか。</p> <p>相模原市の地域的な特性や文化振興政策の取組などを理解し、シビックプライドの醸成やシティプロモーションへの寄与につながる提案となっているか。</p> <p>展示リニューアル構想で示す課題に対する基本理念を理解し、提案に反映されているか。</p> <p>展示全体の展開は、既存のレイアウトにとらわれず、提案内容を効果的に実現する刷新感のある提案となっているか。</p> <p>提案に具体性があり、実現に説得力及び実現可能性があるか。</p> |
| <p>2 展示に対する考え方について</p> <p>当館の活動の特色を活かし、当市の魅力を効果的かつわかりやすく伝えることのできる提案であるか。</p> | 40 | <p>本市の歴史文化や自然等様々な地域資源の特色を捉え、その価値や魅力を引き出す独創性のある提案となっているか。</p> <p>展示構成、展示ストーリー、動線計画に、学習効果の向上を期待できる工夫があるか。</p> <p>空間特性を活かした魅力的な空間演出が提案されているか。</p> <p>市民協働の研究成果を活かすための展示空間の工夫があるか。</p> <p>更新が必要な展示の判断が適切で、既存展示物を効果的に活用した提案となっているか。</p> <p>実物資料を重視した展示内容となっているか。</p> <p>効果的なデジタル技術の活用が提案されているか。</p> <p>学校等の団体利用において学習効果を高めるための展示空間の工夫があるか。</p> <p>展示の維持管理に対する負担軽減の考えが提案されているか。</p> <p>多様な利用者へ配慮したユニバーサルデザイン等の提案が含まれているか。</p> <p>展示の情報更新に関して、提案されているか。</p> |

| | | | | |
|--------|--------|--------------------------------------|----|--|
| 3　自由提案 | | リニューアル効果を高め、博物館の魅力向上に貢献する提案であるか。 | 10 | 博物館の魅力向上に貢献し、リニューアルへの期待感や話題性を高める提案となっているか。 博物館の利用促進につながる提案となっているか。 |
| 業務実施面 | 業務推進体制 | 提案内容を実施できる人員が確保されているか。 | 5 | 業務責任者のほかに同種・類似業務の従事経験のある担当者が複数配置されているか。 学芸員資格を有する技術者を配置しているか。 |
| | | 各工程に妥当な時間配分がなされ、業務完了までの過程が明確にされているか。 | 5 | 業務全体の流れが明確に示され、工程ごとの時間配分についても妥当性のある工程計画になっているか。 特定天井等改修工事実施設計との並行作業や調整期間を見込んだ工程計画になっているか。 |
| | 業務実績 | 本業務と同種・類似業務の受注実績があるか。 | 10 | 国又は地方公共団体が設置する博物館の展示設計業務実績(リニューアルを含む)を1件につき2点加算(5件を上限とする) |
| 合計 | | 100 | | |

2　評価の方法について

- (1) 各評価委員は上記の評価項目及び評価内容に基づき、提案者ごとに点数評価を行う。
- (2) 各評価委員の持ち点(100点)を合算した値(満点)の6割を最低基準とし、各評価委員の評価点を合算した値が最低基準点に満たない提案者は選外とする。
- (3) 各評価委員の評価点を合算した値が最も高い提案者を受注候補者として選定する。ただし、評価点が同点の場合は見積書の金額が低い者を受注候補者とする。
- (4) 提案者が1者のみの場合で、各評価委員の評価点を合算した値が最低基準点を満たすときは、当該提案者を受注候補者として選定する。